

親子部会 活動報告

テーマ：	*発達気になる子どもと保護者が一緒に参加できる活動を企画・運営し、成長、子育てを支援する。 *発達気になる子どもの支援にかかわる機関のネットワークを作り、お互いの支援力を高める。		
日時	場所	参加人数	内容
5月7日(金) 10:00~11:30	須磨区役所	—	定例会 ※緊急事態宣言発令中により中止
6月25日(金) 10:00~11:30	きたすま障害者相談 支援センター	16名	定例会 ・「すまっこナビ」説明会の内容について検討
7月16日(金) 10:00~11:30	須磨区役所	15名	すまっこナビ説明会 ・すまっこナビの内容説明 ・参加者との意見交換、質疑応答
10月25日(月) 10:00~11:30	オンライン	7名	事業所交流会打ち合わせ ・事業所交流会の内容について
11月19日(金) 10:00~11:30	須磨区役所	12名	事業所交流会 ・事例検討 (事例提供ミルキー、ここなくらぶ新開地)
1月21日(金) 10:00~11:30	オンライン	17名	定例会 ・新型コロナ感染予防対策について(保健センターより情報提供、各事業所の困り事や工夫点の共有)
2月25日(金) 10:00~11:30	オンライン	10名	事業所交流会 ・今年度の振り返り ・来年度の活動について検討
3月18日(金)	須磨区役所	11名	定例会 ・来年度のすまっこナビ説明会について ・事業所交流会(2/25)の報告

(すまっこナビ説明会)

【成果】

- ・部会員が参加者として一緒に説明を聞き、受給者証など手続き的なことや一連の制度の流れが理解できた。
- ・冊子を広報していくために、可能な事業所は部会員が所属する機関のHPにリンク先を貼り付けた。

【課題】

- ・親御さんが子育てでしんどくならないようなバックアップをする活動を目指していく必要がある。
- ・説明会はコロナ禍により、応募による参加者は1名であったため、広報の仕方については検討が必要。

(事業所交流会)

【成果】

- ・事例提供をした事業所は出た意見を事業所内で共有し、少しは職員が余裕をもって対応できるようになった。
- ・事例検討は事例提供者が大変で、素直に困っていることを言いたせない場合も多くある。このように困っていることをみんなで話し合えることが良かった。

【課題】

- ・協議会に虐待防止の研修会があると、各事業所が持ち帰って中身のある職員研修を実施することができる。
- ・困っていることをすぐに相談したい時に、事務局がいなくても何かあればみんなで考えるという仕組み作りができれば理想。

(動作法研修について)

【成果】

コロナ禍により開催はなし

【課題】

- ・動作法はその場の臨場感や人と人の触れ合い、空気感があってこそのものであり、コロナ禍においては少人数でも実施は難しい。

【2022年度に向けて】

- ・親子部会の取り組みを通して、学校、保育園、幼稚園と連携していける繋がりを作ることを目指したい。
- ・制度改正や運営面の情報の共有もできると良い。
- ・すまっこナビ説明会は夏休み前に実施し、準備を4月から開始して広報に力を入れる。事業所マップをつけると理想である。
- ・新規事業所数が増えているため、部会への参加を積極的に呼びかけていきたい。
- ・保護者間の意見交換ができる場を考えていく。
- ・事例検討は、職員に対して還元ができる（職員のスキルがあがる）ので続けていく。
- ・コロナ禍であるため、引き続きリモートを活用して事業所間の交流を深めていく。
- ・次年度の事業所交流会では事務局以外の事業所がホストになってみる。